

中学生、自衛隊の職場体験



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木功順3等陸佐）は11月7日（木）、海上自衛隊第2術科学校で実施された横浜市立根岸中学校の「総合的な学習の時間」を支援し、自衛隊に興味を持つ2年生の生徒5名が参加した。

最初に応急工作員から説明を受け防火服や防護マスクの試着体験を行うと、当初は「重たい」「暑い」と動きづらそうにしていたが、写真を撮る際はポーズを決めるなど、楽しんでいる様子だった。

次のガスタービン施設では、13,500馬力の大きなエンジンを役割分担して起動・停止する体験をし、防音イヤーマフを装着しても感じる大きな音に驚きながらも手際よく作業を行っていた。

その後、第2術科学校の居住空間を見学した後、昼食を体験喫食し、生徒たちはポリリュームのある食事を残さず食べ、昼休みの海上自衛隊体操にも参加して元気に体を動かしていた。

午後からはディーゼルエンジンの仕組みを学んだ後に、トルクレンチを使ってネジ締め体験を行い、「どのくらいの強さでネジを締めつけたか」をクイズ形式で正解を探るなど盛り上がっていた。

最後に資料室で自衛隊の歴史を学び、自衛官と懇談を行い、「総合的な学習」のプログラムは終了した。

帰りのバスの中では「楽しかった」「自衛隊のイメージが変わった」と笑顔で話すなど、自衛隊へさらに興味が湧いていたように感じた。

上大岡募集案内所は「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。

